

豊中市社会福祉協議会のCSWと生活困窮者 自立支援のとりくみ ～ 地域共生社会へのあらたなステージ ～

勝部麗子さん（社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会）

地域共生社会への新たなステージ

- ・一人も取りこぼさない ……SOSを出せない人に届く
 - ・排除から包摂へ ……総論賛成各論賛成へ
 - ・支えられた人が支える人に
 - ・全ての人に居場所と役割を
- …それを支えるための丸ごと
断らない福祉
多機関協働
- …福祉が町おこし
 - …社会的孤立への対応

1. 豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み 排除から包摂へ

- ① 制度の狭間から地域づくりへ
- ② 住民と協働するワーカー
- ③ ライフセーフティネットの仕組み
- ④ プロジェクト会議(出口づくり)
総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり

→ 個の課題から地域づくりを考える
ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050
アルコール依存・刑余者などなど
社会的孤立へのアプローチ

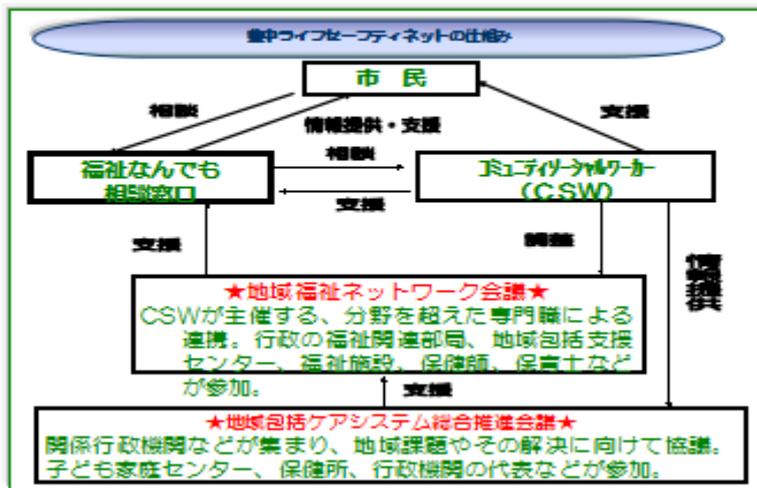
マスコットキャラ
クター「びーん」
よろしくね!!



一人も取りこぼさない② マンションサミット・マンション交流会



丸ごと・多機関協働 一人も取りこぼさない③



すべての人に居場所と役割を① 定年後

豊けあぐり



収穫した野菜は子ども食堂にも届けてるんだよ。



豊中の生活困窮者支援①

生活困窮者支援緊急支援

○貸付、日常生活自立支援、なんでも相談、資源ごみ持ち去り禁止条例との連携、学校などからの生活困窮者の伴走支援→CSWへ

(緊急対応、多重債務整理、年金手続き、住宅探し、制度利用、就労支援等)

- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 民生委員助け合い資金
- 物品提供(衣類、食糧、リユース)
- 施設 社会貢献費用との連携
- 住替え支援
- 食材支援 フードドライブ



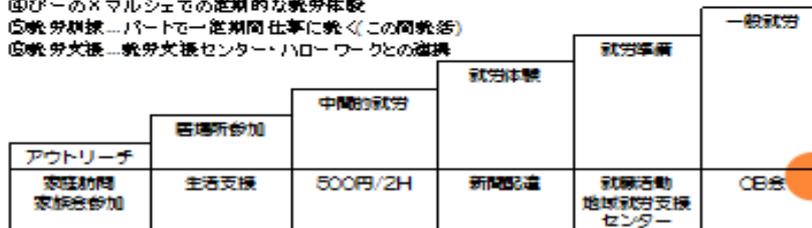
豊中の生活困窮者支援②

- CSWの相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援(ニートひきこもり/スラホームレス等)

→就労準備的な活動 “本人との目標設定(PSプラン)”

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

- ①居場所…週4回(生活面と自己肯定感、仲間意識)
- ②就労プログラム…時間→コマ 活動費支給
- ③就労体験…新聞配達、団地の草むき、買物支援、パン屋さん
農菜、林業、うどん屋さん等
- 居場所発達地域のネットワーク路権 活動費支給
- ④びーの×マルシェでの定期的な就労体験
- ⑤就労訓練…パートで一定期間仕事に慣く(この間就労)
- ⑥就労支援…就労支援センター・ハローワークとの連携



支えられていた人が支え手になる②

プログラム進捗状況(就労体験)

- 就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- ・出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、お買い上げの商品を家まで運ぶ



- ・情報誌、夕刊配達



被災者やひきこもり、中途障害者の方々を就労につなげることができたんだよ。



支えられていた人が支え手になる③

福祉便利屋(住民主体B1)の取組
200円/15分の支え合い



びーの×マルシェ

びーの×マルシェオープン!
「豊中びーのびーの」(引きこもり等の若者支援事業)と「豊中中小売商業団体連合会」の協力でお店を6/12にオープン!



ソーシャルワーカーに求められる10のカギ

- ①入口と出口づくり 入口 早期発見ネットワーク 解決力が発見力
出口 一般就労だけが出口ではない
- ②本人の自己肯定感を高める 徹底した本人尊重
- ③翻訳機能 行政と本人 事業所と本人 地域と本人
- ④SOSを言える気 づける地域づくり(知ることによって候しさが生まれる)
- ⑤開発力 ないものは作る セーフティネットを作る事業 例 緊急小口資金等
- ⑥できる できないのジャッジのワーカーではない
本人の生活から支援を組立てる 支援から参加の視点
- ⑦家族全体の見立てが大切
包括から見たら虐待? 息子支援は?
保護か就労支援?
- ⑧スモールステップを積み上げる 本人と目標を共有する
- ⑨諦めない心 人生をあきらめかけて人を支える私たちが先に諦めてはいけぬ
- ⑩援助関係づくり サービス拒否は支援者が拒否されてる
あなたを心配している。苦しい思いを受け止める
社会資源の活用は本人が主体化しないと台まらない

住民と専門職が協働することが大切なんだね。

